

AI活用の計画立案とハイブリッド生産など新世代のモノづくり手法を学ぶ！ [在庫削減]と[リードタイム短縮・生産性向上]を 両立するモノづくり改革の進め方

～顧客ニーズの多様化・物価高騰局面に対応する実践的手法～

日時 2026年6月24日(水) 10:00~17:00

(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム/オンライン (ZOOM)

講師 小川 正樹 氏

(株)MEマネジメントサービス 顧問 技術士 (経営工学)

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

受講効果

- 【1】材料高騰や部品不足など現在の経営環境に対応した在庫管理の考え方が学べます。
- 【2】リードタイムから見た適正在庫の目標値の設定方法と仕組みが理解できます。
- 【3】excelでの実習を通じて不定期・不定量の発注方式・発注量が具体的に学べます。
- 【4】事例を通じてAI活用の生販計画立案モデルの構築と生産計画への展開が学べます。
- 【5】自社データの入力で最適な在庫量を設定できるexcelシートを進呈します。

プログラム

1. 顧客ニーズの変化に対応したモノづくり

- 1-1 経営環境の変化に対応したAI時代の生産・在庫管理
- 1-2 顧客ニーズの多様化と対応策
- 1-3 モノづくりにおけるAIの活用業務
- 1-4 リードタイムと在庫から見た3つのモノづくり作戦
- 1-5 在庫の仕組みと在庫を持つ理由

■演習：あなたの会社における在庫を持つ長所と短所は何か

2. リードタイム短縮・在庫低減の可能性診断

- 2-1 リードタイムと在庫の見える化
- 2-2 顧客要求リードタイムと供給可能リードタイムを整理
- 2-3 顧客要求リードタイムからデカップリング(在庫)ポイントを設定
- 2-4 製品在庫、仕掛在庫、部品在庫の低減策

3. 生産品種と数量の変動に対応した強いモノづくり

- 3-1 生産方式(ライン、セル)と同期化を検討
- 3-2 ラインとセルの改善ポイント
- 3-3 同期化のレベルと範囲を設定
- 3-4 ライン生産とセル生産の利点を融合させたハイブリッド生産

■演習：サイクルタイムの異なる製品の生産方式を検討しよう

4. AIを活用した需要予測に基づく安全在庫の設定

- 4-1 AI・機械学習を活用した需要予測と生販在計画
- 4-2 需要データに対応する需要予測の主なモデル/手法
- 4-3 需要予測結果から安全在庫を設定
- 4-4 欠品を起こさない発注点と最も得になる発注量

■演習：欠品を起こさない安全在庫を設定しよう

5. AIを活用した需要予測に基づく生産計画の立案

- 5-1 需要予測結果の生産計画への活用ポイント
- 5-2 生産計画とコスト的にメリットのある負荷調整
- 5-3 ネック工程を活用する生産計画の立て方
- 5-4 AI・機械学習を活用した生産計画立案の自動化の進め方

■演習：コスト的にメリットのある生産計画を立案しよう

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

